



アンケート結果と東京都の取組

中高生版

目的

東京都では、子供（※）の笑顔があふれる社会を実現するため、主役であるみなさんの意見を聴き、これからの東京都の施策やルール作りにつなげていくことを目的として「こども都庁モニター」を実施しています。

（※）東京都こども基本条例では、18歳に満たない人を「こども」と呼んでいます。

実施方法

未就学児（0～2歳）保護者、未就学児（3～5歳）保護者、小学校低学年、小学校高学年、中学生、高校生、の6区分で、モニターを選出し、インターネットを通じて、都政に関するアンケートを実施しました。

アンケート期間・回答状況

	アンケート期間	年代	モニター人数	回答人数	回答率
第1回	2024年 6月22日 ～ 7月 1日	中学生	201人	188人	93.5%
		高校生	200人	193人	96.5%
第2回	2024年 8月 3日 ～ 8月 9日	中学生	201人	186人	92.5%
		高校生	200人	178人	89.0%
第3回	2024年 9月14日 ～ 9月20日	中学生	201人	184人	91.5%
		高校生	200人	180人	90.0%
第4回	2024年 10月26日 ～ 11月 1日	中学生	201人	179人	89.1%
		高校生	200人	184人	92.0%
第5回	2024年 12月 7日 ～ 12月13日	中学生	201人	195人	97.0%
		高校生	200人	180人	90.0%
第6回	2025年 1月11日 ～ 1月17日	中学生	201人	183人	91.0%
		高校生	199人	184人	92.5%

第1回

- ・スポーツ P3
- ・自転車の安全利用 P4
- ・海の森公園利活用 P5
- ・救急受診ガイド P6

第2回

- ・未来の東京の芸術文化を支える人材の育成 P7
- ・2025年に東京・日本で開催される世界陸上・デフリンピック P8
- ・第3期子供・子育て支援総合計画 P9

第3回

- ・「未来の東京」戦略のバージョンアップ P10
- ・東京グリーンビズ P11
- ・都立公園の利用 P12
- ・こどもスマイルムーブメント大賞 P13
- ・中高生への情報発信 P14

第4回

- ・東京の空・大気 P15
- ・消防官募集の広報 P16
- ・東京都こども基本条例ポスターコンクール P17

第5回

- ・東京港に関するインフラ情報の一元化 P18
- ・都民防災教育センター P19
- ・消防博物館の特別企画展 P20
- ・中高生 政策決定参画プロジェクト P21

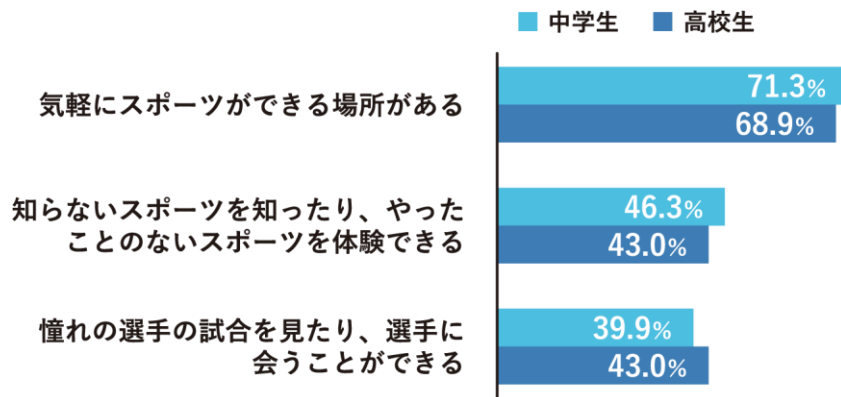
第6回

- ・こども向け予算書 P22
- ・子供の事故予防 P23
- ・ヤングケアラー P24

東京都はスポーツを好きと感じる子供を増やす取り組みを進めています。一人ひとりの好みや特性に合った、スポーツの楽しさや魅力を実感できる環境や仕組みづくりをするために、みなさんの意見をお聞きしました。

第1回アンケート内容

Q どのような機会や環境があると、今よりもスポーツが好きになると思いますか？ ※複数回答



中学生、高校生ともに「気軽にスポーツができる場所がある」が最も高く、以下、「知らないスポーツを知ったり、やったことのないスポーツを体験できる」、「憧れの選手の試合を見たり、選手に会うことができる」などと続いています。

具体的施策

2025年3月に策定予定の「(次期)東京都スポーツ推進総合計画」において、子供のスポーツ振興に向けて、現状や課題の認識に活用

回答結果を踏まえ、スポーツ好きな子供を増やすなど、今後の取組の方向性に反映

Project 1 スポーツとともに育つ「チルドレン・スポーツ・プロジェクト」等

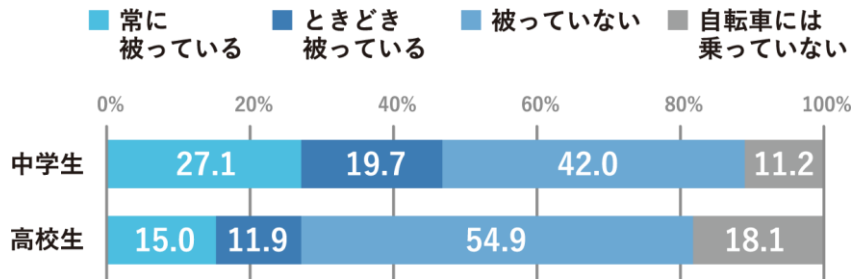
▼東京都スポーツ推進総合計画はこちらから



東京都は、自転車を安全に利用してもらうための取り組みを進めています。
ヘルメットを被ることやルール・マナーを守った自転車の運転が習慣となるようにするため、みなさんの意見をお聞きしました。

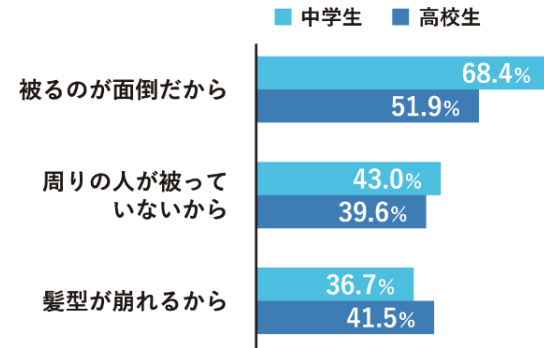
第1回アンケート内容

Q 自転車に乗る時に、ヘルメットを被っていますか？



中学生、高校生ともに「被っていない」が最も高くなっています。被らない理由は、中学生、高校生ともに「被るのが面倒だから」がもっとも高くなっています。

Q ヘルメットを被らない理由は何ですか？ ※複数回答



具体的施策

 自転車用ヘルメット着用促進をはじめ、自転車安全利用促進の普及啓発に反映

▶ 自転車ヘルメットの重要性について、ドラマとトークを交え、わかり易く伝える動画を作成・配信



● 都立高校生との本音トーク会を開催し、その際にアンケートデータを活用した議論・意見交換会を実施

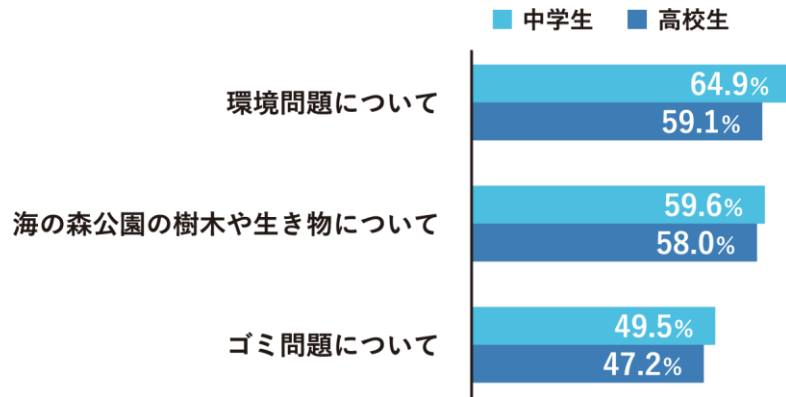
自転車の乗り方について
都立高校生と本音トーク！
(2024年11月21日 東京デイリーニュース No.639)



2025年3月に、東京港の中心にごみの島から美しい森によみがえった海の森公園がオープンします。海の森公園には自然豊かな森と大きな草原が広がっており、様々な楽しみ方ができます。また、公園の自然や様々な環境問題を学ぶビジターセンターができる予定です。みなさんがどのように公園を楽しみたいかお聞きしました。

第1回アンケート内容

Q ビジターセンターではどんなことが知りたいですか？あてはまるものをいくつでも選んでください。 ※複数回答



「環境問題について」が最も高く、以下、「海の森公園の樹木や生き物について」、「ゴミ問題について」などと続いています。

具体的施策



2025年3月にオープンする海の森公園ビジターセンターの展示に反映



公園内の樹木や生き物が載っているパンフレットを作成



自然観察や環境学習プログラムを実施

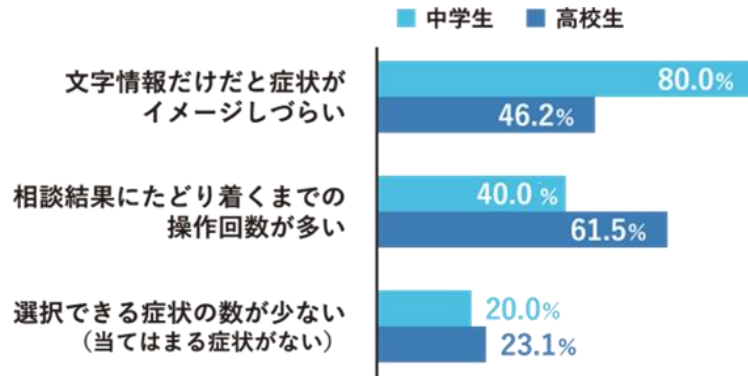
▼東京都 海の森公園ホームページ
はこちらです



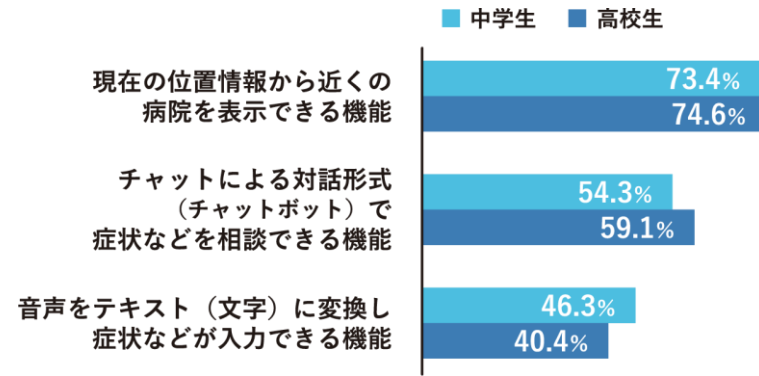
東京消防庁では「病院へ行くか救急車を呼ぶか」迷った時に、病気やけがの緊急度、医療機関での受診の必要性などをインターネットで確認できる「東京版救急受診ガイド」を、ホームページや公式アプリで提供しています。
より使いやすい「東京版救急受診ガイド」にするために、皆さんの意見をお聞きしました。

第1回アンケート内容

Q 「東京版救急受診ガイド」を使いにくいと感じた理由は何ですか？ ※複数回答



Q 今後「東京版救急受診ガイド」に備わったらより使いやすくなると思う機能は何ですか？ ※複数回答



具体的施策



新たに「東京版救急受診ガイド」の機能刷新・拡充の検討に際しての参考として活用

●東京版救急受診ガイドとは？

症状に応じた質問に答えることで、病気やけがの緊急性の有無、受診の必要性、受診時期、受診科目のアドバイスを得られるサービスです。

「病院へ行く？救急車を呼ぶ？」など急な病気やけがで迷った場合にホームページをご活用ください。



▼東京版救急受診ガイドはこちらです

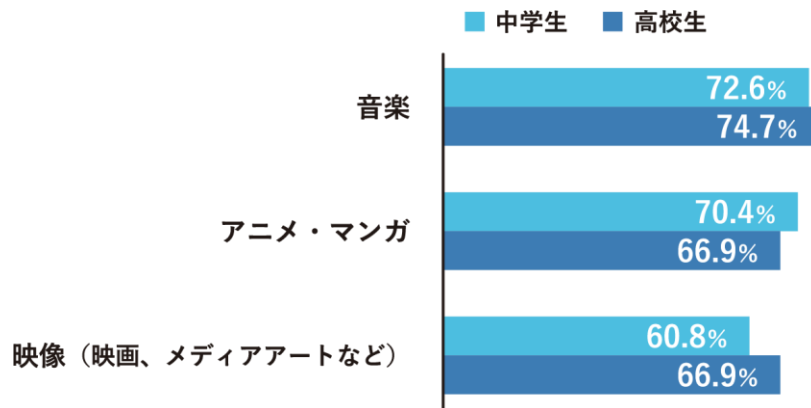


東京都は、子供たちが自らの興味関心がある芸術文化について、より深くより高いレベルで学ぶことができる「ネクスト・クリエイション・プログラム」を実施しています。

みなさんの興味関心を持つことができるプログラムを作るために、たくさんの意見をお聞きしました。

第2回アンケート内容

Q どのような芸術や文化に興味がありますか？ ※複数回答



中学生、高校生ともに「音楽」が最も高く、以下、「アニメ・マンガ」、「映像（映画、メディアアートなど）」などと続いています。

具体的施策



ネクスト・クリエイション・プログラムの新規プログラムを企画検討する際に、分野を選ぶ参考として活用

●ネクスト・クリエイション・プログラムとは？

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が実施する子供たちが自らの興味関心がある芸術文化について、より深くより高いレベルで学ぶことができる事業です。子供たちの個性に寄り添いながら豊かな才能の開花を後押しすることを目指しています。

NEXT
CREATION
PROGRAM



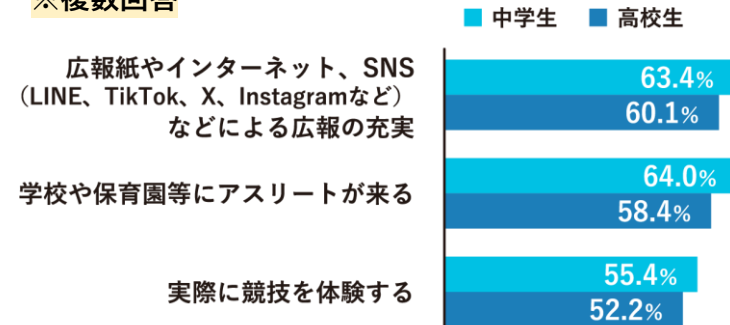
東京都は、たくさんの子供たちに、2025年の世界陸上競技選手権大会・デフリンピックへ参画してもらいたいと考えています。その取組を検討するため、みなさんの意見を聞かせてください。

第2回アンケート内容

Q 世界陸上・デフリンピックを観戦するにあたりどんなことをしたいですか？ ※複数回答

- 1 会場でしか味わえない体験（みんなで応援グッズを持って声援を送る等）（世陸：56.3%、デフ：51.1%）
- 2 海外・国内選手の活躍を会場に行き観たい（世陸：53.6%、デフ：48.6%）
- 3 会場・会場周辺等でしか味わえない体験（誰でも楽しめる競技体験等）（世陸：47.3%、デフ：47.8%）

Q 世界陸上・デフリンピックに興味を持つ人をさらに増やすために、どのようなきっかけがあればいいと思いますか？ ※複数回答



具体的施策

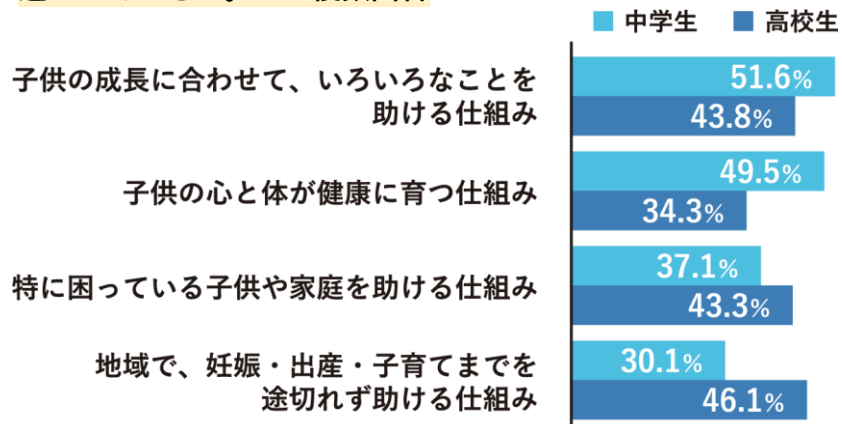
- 1 両大会の気運醸成イベント等において競技体験を実施
- 2 子供たちからのメッセージを集め、選手に届けるとともに、会場での盛り上げなどに活用
- 3 競技の観戦機会の提供に加え、競技以外の大会の裏側を見学できる機会の創出など、多くの子供たちの参画機会を創出
- 4 大会期間中に子供たちがスポーツの楽しさを感じられる取組を実施

東京都は「東京都子供・子育て支援総合計画」という計画をもとに、東京に住むみなさんと子育てする方が暮らしやすくなるよう、さまざまなことに取り組んでいます。

この計画をより良いものにするために、みなさんの意見をお聞きしました。

第2回アンケート内容

Q 現在の「東京都子供・子育て支援総合計画」の中にある5つの目標の中から、もっと充実してほしいと思うものを2つまで選んでください。 ※複数回答



中学生では「子供の成長に合わせて、いろいろなことを助ける仕組み」(51.6%)が最も高くなっています。一方、高校生では「地域で、妊娠・出産・子育てまでを途切れず助ける仕組み」(46.1%)が最も高くなっています。

具体的施策



『東京都子供・子育て会議』の資料に活用



第3期子供・子育て支援総合計画(2025年3月公表予定)策定

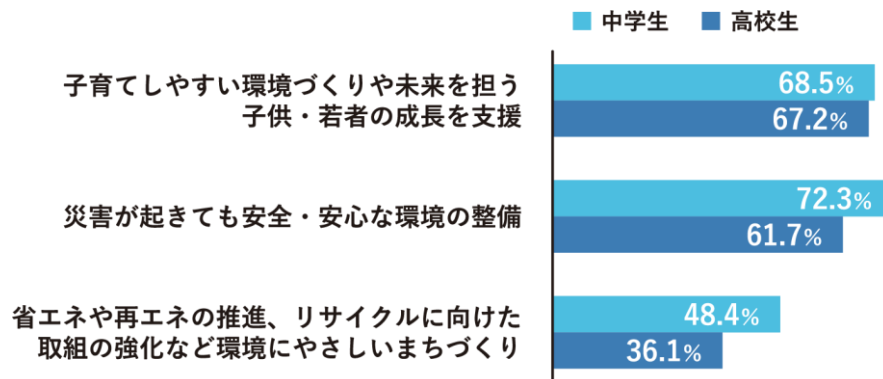
●東京都子供・子育て会議とは？

東京都子供・子育て会議条例に基づき設置された知事の附属機関で、東京都子供・子育て支援総合計画等について調査・審議する機関です。

東京都は、「未来の東京」に向けた戦略を策定し、様々な取組を進めています。
 新たな戦略を策定し、明るい未来の東京をつくりあげる取組を一層強化していくため、みなさんのご意見をお聞きしました。

第3回アンケート内容

Q 明るい未来の東京をつくりあげるために、どのような取組が重要だと思うものを3つまで選んでください。 ※複数回答



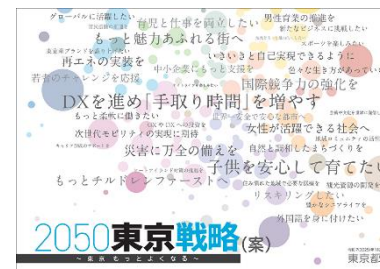
中学生では「災害が起きても安全・安心な環境の整備」が最も高く、「子育てしやすい環境づくりや未来を担う子供・若者の成長を支援」などと続いています。
 一方、高校生では「子育てしやすい環境づくりや未来を担う子供・若者の成長を支援」が最も高く、「災害が起きても安全・安心な環境整備」などと続いています。

具体的施策

東京都の新たな戦略「2050東京戦略」の策定に活用

アンケート結果は、「2050東京戦略」で紹介するとともに、戦略の強化に反映

▼「2050東京戦略」はこちらから

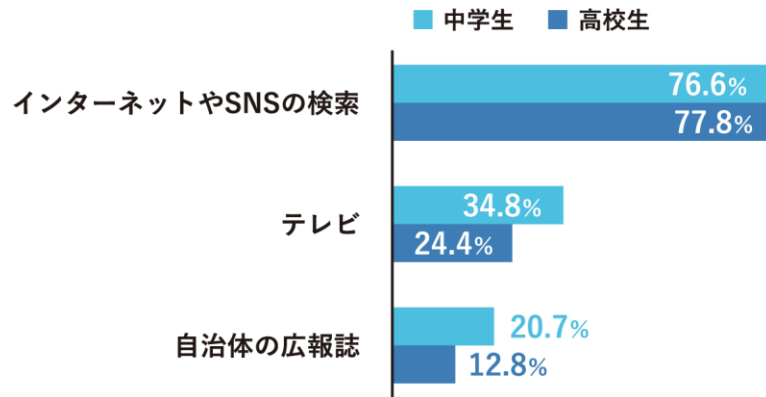


東京都は100年先を見据え、都民や企業など様々な方々と一緒に東京を「自然と調和した持続可能な都市」へと進化させるプロジェクト「東京グリーンビズ」を推進しています。

緑や自然に触れ合う体験を企画するにあたり、みなさんの意見をお聞きしました。

第3回アンケート内容

Q 緑や自然に触れ合える場所やイベントを探すときに、どのように情報を収集していますか？ ※複数回答



中学生、高校生ともに「インターネットやSNSの検索」が最も高く、以下、「テレビ」、「自治体の広報誌」などと続いています。

その他のアンケートで、「家族や友達と遊びに行くときに、緑や自然の多い場所を選ぶことが多いですか？」ということを引きましたが、他の年代に比べ、中高生は「多い」の回答が少なかったです。

具体的施策



緑豊かな施設を紹介するガイドブックやPR動画の制作など、情報発信を強化



東京グリーンビスマップでの緑のスポットやイベント等の掲載情報を充実

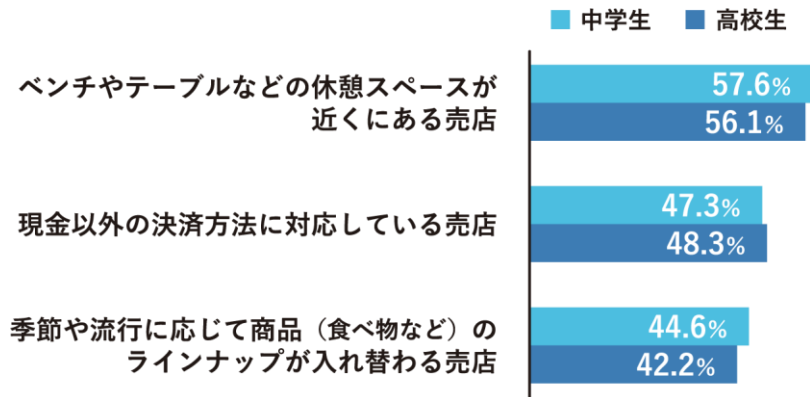
▼情報発信の強化のひとつとして、
中高生に人気のあるタレントが出演する
PR動画等を作成



東京都は、子供から高齢者まで多くの都民に、やすらぎとレクリエーションを提供する場として、「都立公園」を都内各地で管理しています。都立公園をより楽しい場とするために、「都立公園内の売店サービス」について、みなさんの意見をお聞きしました。

第3回アンケート内容

Q 都立公園にどんな売店があったら利用してみたいと思いますか？ ※複数回答



中学生、高校生ともに「ベンチやテーブルなどの休憩スペースが近くにある売店」が最も高く、以下、「現金以外の決済方法に対応している売店」、「季節や流行に応じて商品（食べ物など）のラインナップが入れ替わる売店」などと続いています。

具体的施策



都立公園の売店の魅力的なサービス展開に向けた検討に活用

▶お近くの都立公園はこちらからお調べいただけます。
ぜひお出かけの際にご活用ください！

エリアマップ案内（東京都23区）

エリアマップ案内（多摩部）

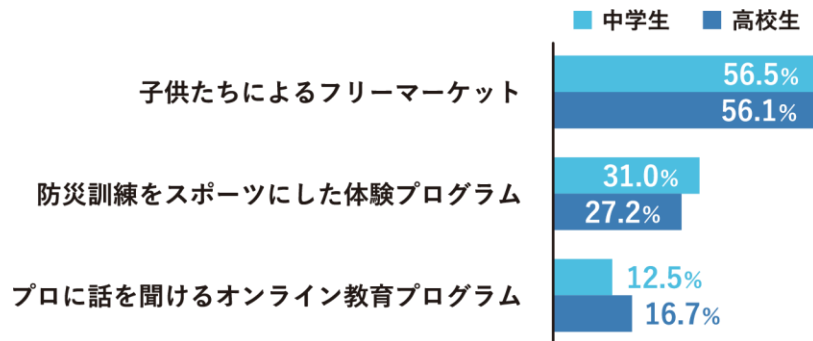


東京都では、企業・団体・学校・区市町村など社会の様々な主体との連携により、「子供の笑顔があふれる社会」、「安心して子供を産み育てられる社会」を目指す、「こどもスマイルムーブメント」を推進しています。

皆さんに選んでもらった取組を「こどもスマイルムーブメント大賞」最優秀賞（子供部門）として表彰しました！

第3回アンケート内容

Q 【子供部門】 一番、子供の笑顔に繋がる取組はどれだと思いますか？



中学生、高校生ともに「子供たちによるフリーマーケット」が最も高く、以下、「防災訓練をスポーツにした体験プログラム」、「プロに話を聞けるオンライン教育プログラム」の順でした。

具体的施策

最も多く投票があった取組を『こどもスマイルムーブメント大賞 最優秀賞』として決定し、表彰式を実施



▼表彰式の様子は
こちらからご覧になれます



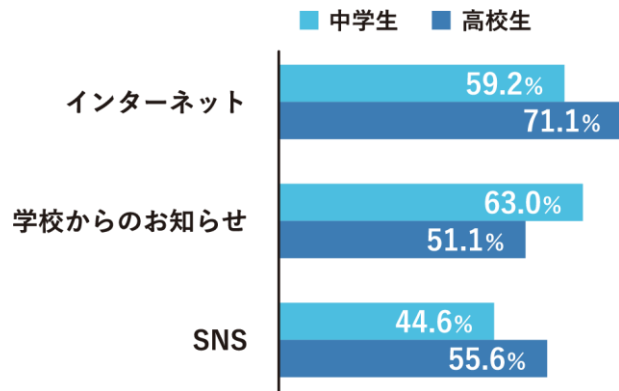
子供たちによる
フリーマーケット

特定非営利活動法人
キッズフリマ

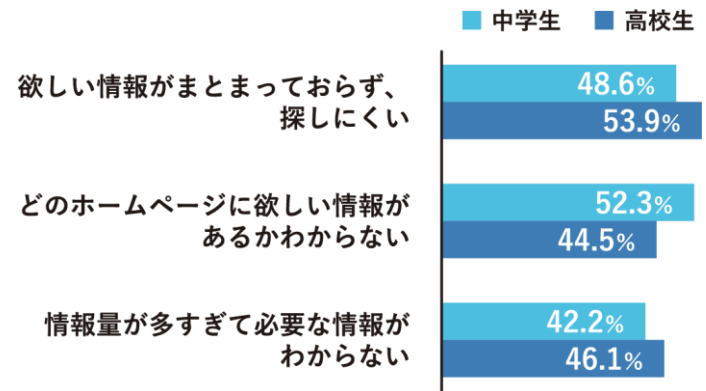
東京都は、中高生のみなさんが参加できるイベントやワークショップ等の様々な取組を進めています。それらの情報を効果的に発信するため、みなさんの意見をお聞きしました。

第3回アンケート内容

Q 興味・関心がある情報を現在どこから得ていますか？
※複数回答



Q インターネットで情報を探す際に困っていることは何ですか？
※複数回答



具体的施策

中高生にとっての「都政への玄関口」となる「中高生Webサイト（仮称）」を制作

- ユーザー目線を徹底して、中高生と一緒にサイトを構築（2026年3月～本格稼働）
- 一人1台端末と接続し、「都政への玄関口」としての機能を最大化
- Webサイト稼働後も、継続的に中高生の意見を聴きながら、日常的に利用したくなる魅力的なコンテンツを制作

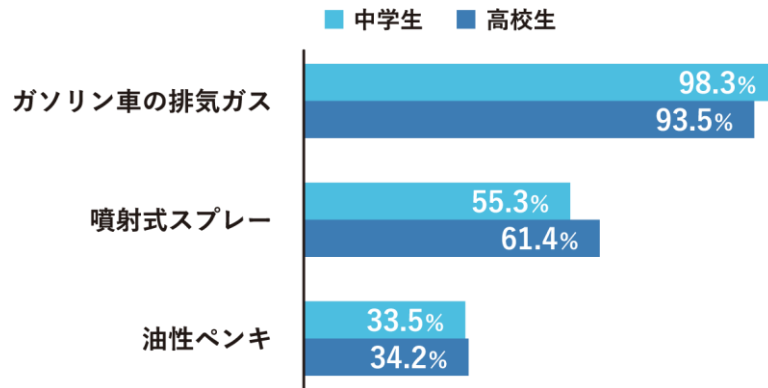


こども未来アクション2025（2025年1月）
P46～48に掲載

東京都はみなさんが住んでいる空・大気をきれいにする取組を行っています。
取組に役立てるため、みなさんが東京の空・大気について感じていること、知っていることをお聞きしました。

第4回アンケート内容

Q 普段の生活の中でも空気を汚しているものがあります。知っているものを選んでください。 ※複数回答



中学生、高校生ともに「ガソリン車の排気ガス」が最も高く、90%以上の方が知っていると回答しています。一方、「油性ペンキ」、「マニキュア」「油性ペン」「接着剤」の認知度は20～30%程度にとどまっています。

具体的施策



認知度が低い項目について出前授業やイベント等で重点的に普及啓発を実施

● 「ClearSky実現に向けた大気環境改善」とは？

光化学スモッグやPM2.5を減らし、快適な大気環境ClearSkyと一緒に実現する取り組みです。普及啓発に向けて、様々な取り組みを実施しています。

実際に実施した出前授業の様子

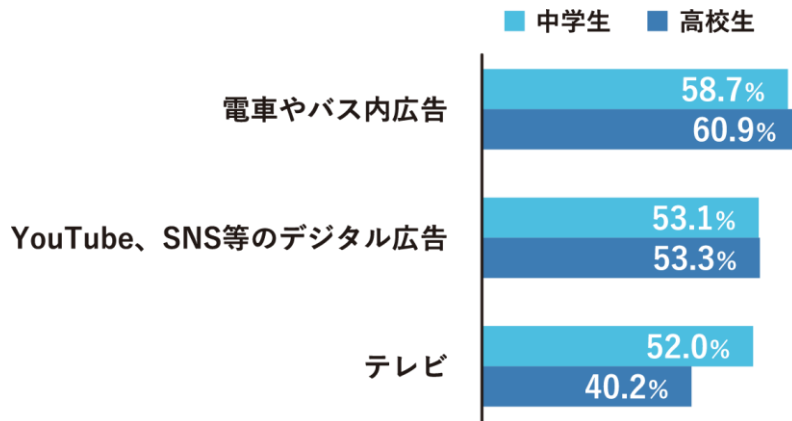


2024年11月26日、
2025年2月17日、
2月21日に実施

東京消防庁では、私たちと一緒に東京の安全・安心を守ってくれる消防官を募集しています。これからも「誰もが安心して暮らせる東京」を守っていくために、消防官に対するみなさんのイメージや考えについてみなさんの意見をお聞きしました。

第4回アンケート内容

Q どの広告媒体であれば、詳しく見ようと思いますか？ ※複数回答



中学生、高校生ともに「電車やバス内広告」が最も高く、以下、「YouTube、SNS等のデジタル広告」、「テレビ」などと続いています。

具体的施策



アンケート結果をもとに消防官募集活動を充実し、消防官の魅力を発信

●東京消防庁では消防署見学説明会に参加できます

東京消防庁は消防署見学説明会を実施し、皆さんの知らない消防署の仕事の意外な一面をお伝えしています。消防署の仕事を知りたい、公務員に興味がある。どんな理由からでも構いませんので是非ご参加ください。

募集条件：高校生～34歳、東京消防庁での就業経験がない方を対象



子どもの権利が大切にされ、みんなが幸せに過ごせるように、2021年に「東京都子ども基本条例」が制定されました。この条例をたくさんの人に知ってもらうために、ポスターコンクールを開催し、その入賞作品を決定するために、みなさんの意見をお聞きしました。

第4回アンケート内容

Q テーマ「子どもにやさしい東京～あなたが笑顔になれる場所～」をよく表していると思う作品を1つ選んでください。

【小学校低学年部門】 1位

みんながヒーロー、わたしの東京



【小学校高学年部門】 1位

幸せに感謝



【デジタル部門】 1位

笑顔あふれるまち東京



具体的施策



各部門の入賞候補である3作品のモニターによる投票結果などを踏まえて、最優秀作品と優秀作品を決定



入賞作品を、ラッピングバスや、商業施設内のデジタルサイネージ投影、子どもホームページへの掲載など、東京都子ども基本条例の普及啓発活動に活用

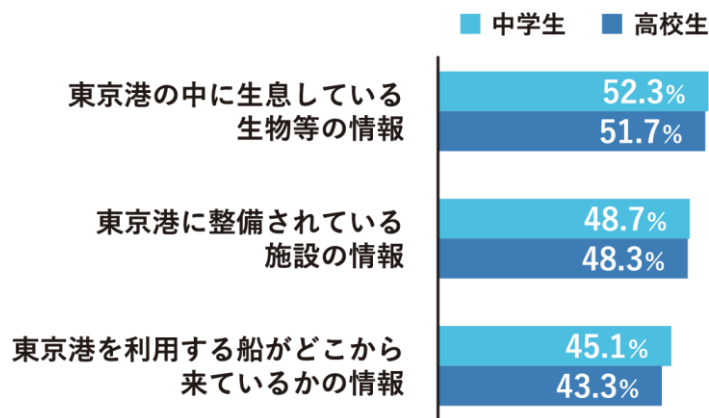
●東京都子ども基本条例とは？

「子どもの権利条約」の精神に則り、子供を権利の主体として尊重し、子供の最善の利益を最優先にするという基本理念のもと、子供の安全安心、遊び場、居場所、学び、意見表明、参加、権利擁護等多岐にわたる子供政策の基本的な視点を一元的に規定しています。

東京都は、みなさんに、東京港に関する情報をもっと知ってもらうため、誰でも情報を知ることが出来る仕組みを作る予定です。東京港には、物流、観光・レクリエーション、環境、防災など、多くの情報があります。どのような情報に興味があるか、みなさんの意見をお聞きしました。

第5回アンケート内容

Q 東京港に関する情報の中で、知りたい・見てみたい情報を3つまで選んでください。 ※複数回答



中学生、高校生ともに「東京港の中に生息している生物等の情報」が最も高く、以下、「東京港に整備されている施設の情報」、「東京港を利用する船がどこから来ているかの情報」などと続いています。

具体的施策

 東京みなとDXシステムへオープンデータとして掲載する情報を検討する際の参考にした

●東京みなとDX推進プロジェクトとは？

東京港の各種情報をプラットフォーム上に一元化することで、業務の生産性向上・迅速な災害対応・オープンデータ化を実現

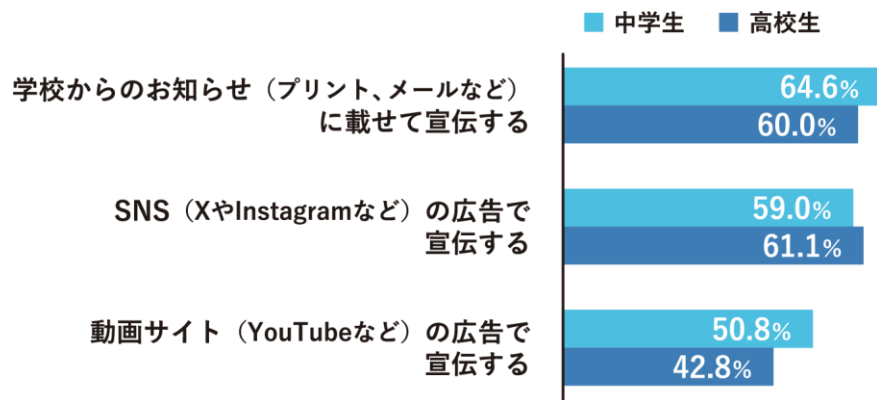
▶プロジェクトの進行状況はこちらからご覧になれます



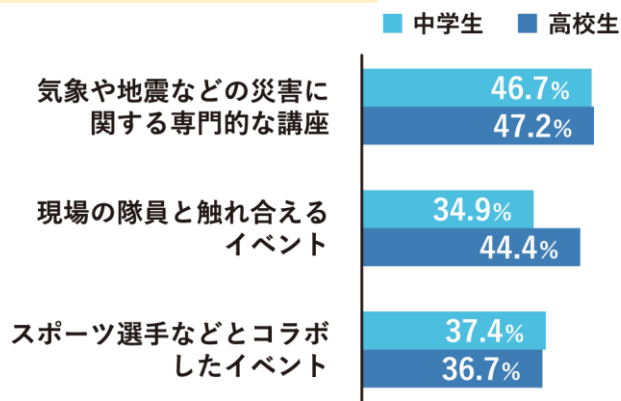
東京消防庁では、「いつでも・誰でも・楽しく」防災に関する知識や技術を体験しながら学べる、都民防災教育センター（通称「防災館」）を池袋、^{ほんじよ}本所、立川の3か所で運営しています。より多くの方に防災館に来てもらい、防災について学んでいただくため、みなさんの意見をお聞きしました。

第5回アンケート内容

Q 防災館を知ってもらうためには、どのような宣伝方法が効果的だと思いますか？ ※複数回答



Q どのようなイベントが開催されたら、防災館に行ってみたいと思いますか？ ※複数回答



具体的施策

- 東京都教育庁に保護者への情報配信の協力を依頼したり、防災館近隣区市と連携するなど情報発信を強化
- 小学生以下の子供とその親を対象とし、パッケージ化した防災館イベントの開催を検討

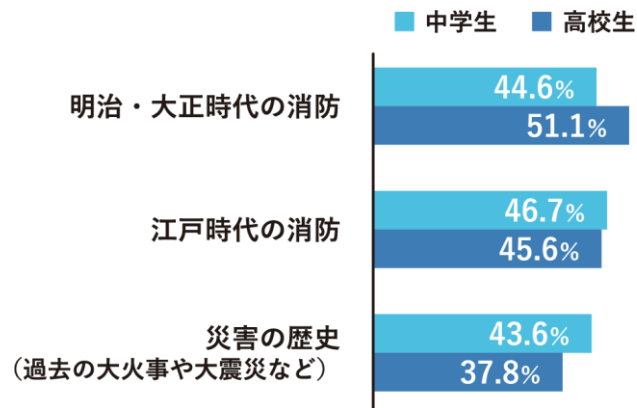
▶ 防災館では様々なイベントを行っています。お近くの防災館はこちらからお調べいただけます。



消防博物館は、江戸から現代までの消防の歴史に触れながら、防火・防災について学べる施設です。昔の消防自動車や、江戸時代から現在までの消火に必要な道具などの実物を展示しているほか、年に数回、期間限定の「特別企画展」を開催しています。たくさんの方が行きたいと思うような魅力的な「特別企画展」にするために、みなさんの意見をお聞きました。

第5回アンケート内容

Q どのような「特別企画展」が開催されていたら、消防博物館に行ってみたいと思いますか？ ※複数回答



中学生では、「江戸時代の消防」が最も高く、以下、「明治・大正時代の消防」、「災害の歴史（過去の大火事や大震災など）」などと続いています。

一方、高校生では、「明治・大正時代の消防」が最も高く、以下、「江戸時代の消防」、「災害の歴史（過去の大火事や大震災など）」などと続いています。

具体的施策

昔の消防自動車や、江戸時代から現在に至るまでの消火に必要な道具などの実物を展示しているほか、年に数回、期間限定の「特別企画展」を開催

●消防博物館とは？

消防博物館は、正式には東京消防庁消防防災資料センターといい、東京の安全と安心を進める消防がまるごとわかる広報報・教育施設として1992年12月3日に開館しました。2024年12月19日には来館者500万人を達成しました。

▼消防博物館のホームページはこちらです



東京都では、様々な方法で子供の意見を聴く取組を進めています。2024年から新たに始まった「中学生 政策決定参画プロジェクト」では、中学生が対象となる政策について、参加メンバーで議論し、知事へ政策提案を行います。提案内容は都の政策へ反映していきます。来年のプロジェクトの議論テーマを決めるために、皆さんの意見をお聞きしました。

第5回アンケート内容

Q 中学生が議論するテーマとして一番いいと思うものを1つ選んでください。

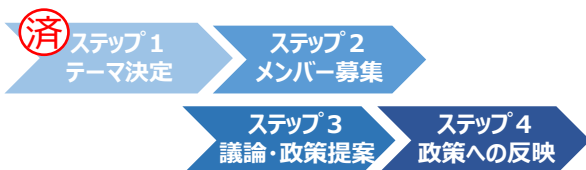
テーマ案	中学生回答	高校生回答
中学生にビジネスや起業に親しみをもってもらおう～挑戦者を生み出す東京へ～	24.6%	22.2%
都立スポーツ施設ができること～都立スポーツ施設に来てもらうには？～	19.5%	14.4%
海外の中学生に向けた東京観光PR	15.9%	16.7%
若い世代からの食育の推進	10.3%	15.0%
伝統工芸品の魅力発信	17.4%	18.9%
みどりと生きるまちづくり	10.8%	12.2%

中学生、高校生ともに「中学生にビジネスや起業に親しみをもってもらおう～挑戦者を生み出す東京へ～」が最も高かったです。

具体的施策

 2025年度の議論テーマを【中学生にビジネスや起業に親しみをもってもらおう～挑戦者を生み出す東京へ～】に決定

●中学生 政策決定参画プロジェクトの流れ



約半年間のグループワークを通してメンバー同士で話し合い、意見をまとめ、知事に提案します。

●2025年度の参加メンバーを募集中！

募集対象：都内在住または在学の中学生・高校生相当年齢の方



▼詳細はこちら

▼2024年度の様子が動画で見られます！



東京都では、東京都の仕事やお金の使い道をお子へにも知ってもらうために、「こども向け予算書（動画）」をつくっています。動画を見ていただき、内容をより良く、わかりやすくするための意見や感想をお聞きました。

第6回アンケート内容

Q（こども向け予算書（動画）の）感想やご意見がありましたら記入してください。 ※自由回答

- ・自分自身が初めて知る内容だったので大変わかりやすくなるためになりました。予算を10,000円の場合と考えて説明するなど、わかりやすくするための工夫がとられている点と、あまりたくさんの情報を詰め込みすぎずに、伝えたいことが要点としてまとめられていてよかったです。視聴時間も丁度良いと思いました。
- ・資料の文字数が多く、ナレーションがなく文字を読む必要があり、資料と同時に吹き出しも注視しないといけないが、解読する時間が足りない。その割に全体的にスピードが速いため、結果的に効率的な理解に繋がらない。
- ・文字がぎゅっと詰まっていたり動画を止めないと読み切れなかったところの文章などを、もう少し簡潔にしてほしいと思いました。

具体的施策



今後の動画作成において構成や表現等を検討する際の参考とする

●2024年度の動画「東京都の予算のはなし」はこちらです

▶ダイジェスト版



▶通常版



▼2025年度のこども向け予算書動画は、2025年4月下旬を目途にこちらからご覧になれます。

東京都
財務局

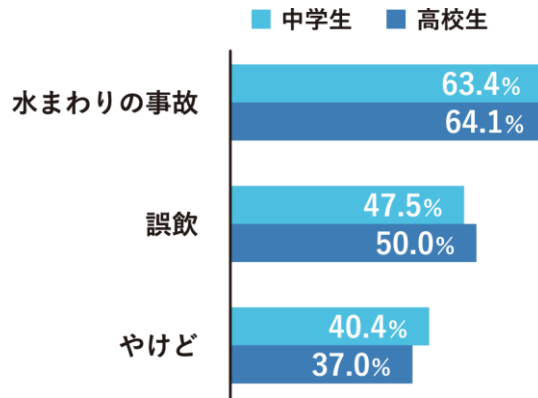
Tokyo Metropolitan Government
Bureau of Finance



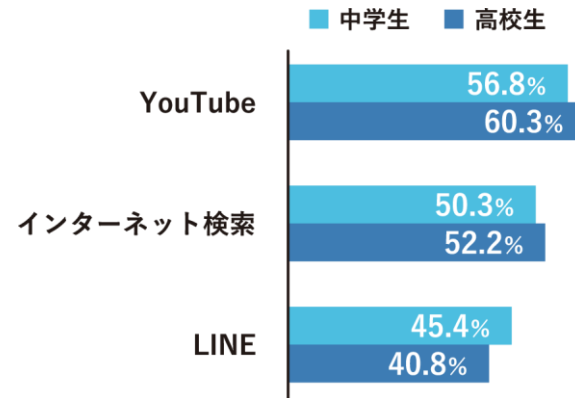
東京都では、子供が事故から守られ、思い切りチャレンジできる環境づくりを推進しています。
この取組をさらに充実させるため、みなさんの意見をお聞きしました。

第6回アンケート内容

Q (子供の) 事故の中で、どの事故の予防策が知りたいですか？ ※複数回答



Q (子供の) 事故予防に関する情報は、どのような媒体から得られるとよいと思いますか？ ※複数回答



具体的施策

 東京都こどもセーフティプロジェクトにおいて、アンケート結果も踏まえて、様々な事故予防策を発信していく予定

▼ホームページはこちらです

●こどもセーフティプロジェクトとは？

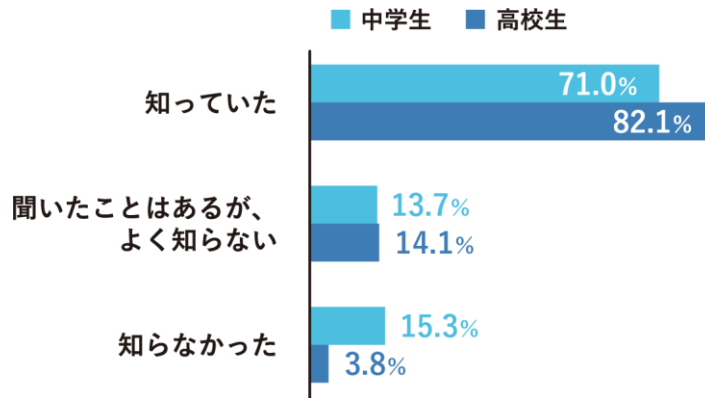
子供が事故から守られ、子供が成長に応じて様々なことに好奇心を持ち、思い切りチャレンジできるように、事故が起きにくい環境をつくるのが、このプロジェクトのミッションです。



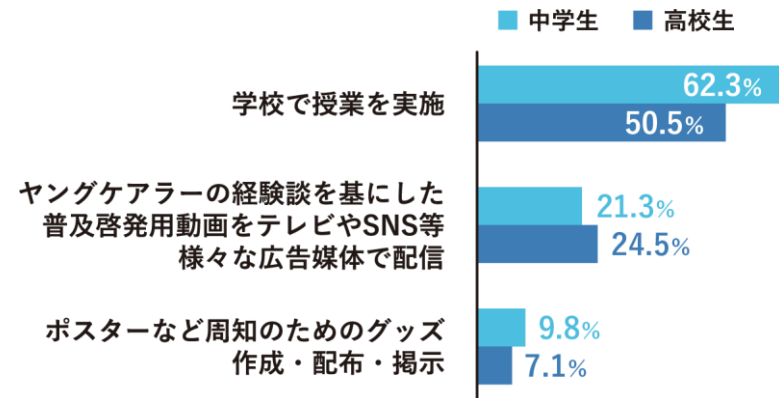
「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家族の介護その他日常生活上の世話を過度に行っている子供・若者のことを言います。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。「ヤングケアラー」に関する取組を検討するため、みなさんの意見をお聞きしました。

第6回アンケート内容

Q 「ヤングケアラー」について、知っていましたか？



Q ヤングケアラーの存在を広く社会に周知していくために、どの取組が一番よいと思いますか。 ※複数回答



具体的施策

 認知度についての調査結果を踏まえ、今後の普及啓発事業の取組について検討していく

●ヤングケアラーとは？

本来大人が担うと想定されている家族の介護その他日常生活上の世話を過度に行っている子ども・若者のことを言います。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

▼ヤングケアラーをさまざまな視点から描く一人の女の子のドキュメンタリーです。



東京都では、みなさんの意見を大切にして、子供の笑顔があふれるまちをつくります。みなさんが自分らしく幸せに過ごせるように、みなさんといっしょに考えながら、いろいろな取組を行っていきます。

こども未来アクション

みなさんの声や思いをもとにした、こどもの笑顔があふれる社会をつくるための東京都の取組をまとめました



(中高生版)



東京都こどもホームページ

子供たちが、東京に魅力を感じ、都政に興味・関心を持つことができる情報プラットフォーム



東京都こども基本条例

こどもの笑顔があふれる社会の実現に向けて制定



(中高生向け)



ギュッとチャット

悩みや不安があるときに、ネットでつながることができる無料の相談チャットです



「あのわ…」で始まる相談チャット

ギュッとチャット



ギュッぴい